

3人の子を持つママさん議員

富士子ちゃん通信

群馬県議会議員 かがや富士子

第8号



お世話になります。
県議会議員のかがや富士子です。
今回は第三回定例会後期議会で
一般質問に登壇しましたので、
その内容を中心に報告をさせて頂きます。

VOL.
08
2019

GACHi 高校生 × 県議会議員

若い人に政治に関心を持ってもらおうと、高校生と県議会議員の意見交換会「GACHi(ガチ)高校生×(かける)県議会議員」で、沼田女子高校にお邪魔してきました。O×クイズで政治の仕組みを説明後、高校生からの質問に議員が答えるといった形式。高校生か

らの質問では、「どうして議員になったのか」「議員になって良かったところは」など、活発に質問が出されました。私からは、『女性らしさ』や『男性らしさ』に囚われず、『自分らしさ』を大事にして欲しい」「政治に無関心であっても無関係ではられない」



と自分の実体験を交え、お話をさせて頂きました。

富士子ちゃんの
Vttoコラム

「止まれ」等の 道路標示の塗り直し

道路に「止まれ」や横断歩道の表示がありますが、これは県道、市道に関わらず群馬県警が担当をしています。みなさんの地域で道路標示が薄くなって危険だと思われる場所がありましたら、お知らせ下さい。



ぜひ皆様の声を
かがや富士子に
聞かせてください。

かがや富士子事務所

☎ 0270-22-2451

✉ fujiko_kgy@ybb.ne.jp

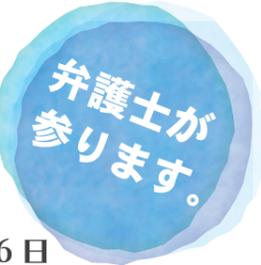
〒372-0006
群馬県伊勢崎市太田町 564-1-2-2
TEL : 0270-22-2451
FAX : 0270-22-2455

ブログ・facebook 更新中

かがや富士子 検索

www.kagayafujiko.com

群馬県議会議員かがや富士子の県議会報告書・活動報告
富士子ちゃん通信 第8号 2018年12月
リベラル群馬 発行人 加賀谷富士子
〒372-0006 群馬県伊勢崎市太田町 564-1-2-2
TEL : 0270-22-2451 FAX : 0270-22-2455

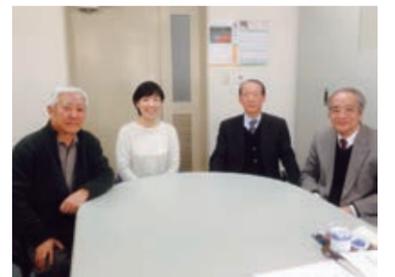


毎月第3土曜日は
無料法律相談・困りごと相談

日時：1月26日、2月16日、3月16日
13時～15時受付

場所：中央労働金庫伊勢崎支店2F
伊勢崎市今泉町 1-22-11

離婚、相続、交通事故、
後見人などの法律に関する
お困りごと、県行政、
市行政に対する相談事が
ありましたら、お気軽に
ご相談ください。相談は
無料です。相談内容の秘
密は厳守いたします。



矢島前市議、加賀谷、山田弁護士、塚越前県議

子どもの居場所づくりについて

県内の子どもの居場所

子ども食堂	42ヶ所
無料学習塾	71ヶ所



子ども食堂や無料の学習塾などの「子どもの居場所づくり」が始まって数年が経ちます。子どもの居場所づくりが進められている中で、いくつか課題が出てきていますので、そのことを中心に報告させて頂きます。

健康福祉部への質問

Q

子ども食堂を開設したいと言
う方から、「子ども食堂を運営
するにあたり、食品衛生上の営
業許可が必要なのかどうか、わ
かりづらい」「子ども食堂」
『営業許可が必要』となると施
設整備にお金が掛かって断念す
るかも」と言ったご意見も頂い
た。群馬県として、営業許可が
必要なかどうかの指針をつく
るべきではないか。

A

福祉目的の食事の提供で、相
手が特定され、実費程度のお金
の徴収であれば営業許可の取得
は不要である。現在、県内には
42ヶ所の子ども食堂があり、
その内の29ヶ所が営業許可を
取得している。ご指摘の様に営
業許可の判断基準がわかりづら
いと言っ意見があるので「福祉
目的の食事提供行為における食
品衛生管理指針」の策定を進め、
早期に公表したい。



教育委員会への質問

Q

子ども食堂を運営されている
方から、「せっかく子ども食堂
を開いても、支援が必要な子ど
もが誰なのかわからないので、
情報を届けられない」「学校が
子ども食堂のチラシを配ってく
れば…」と言った相談を頂い
た。子どもの居場所づくりを進
めていく上で、教育と福祉の連
携が必要と思うが、どのような
対策を考えているか。



教育と福祉の連携について

A

今年度は教育と福祉の連携を
深める為に36の中学校区を指
定してスクールソーシャルワ
ーカーを増員した。スクールソ
シャルワーカーが、支援が必要
な子どもと子ども食堂とを繋げ
て食生活や生活習慣が改善され
た報告も受けている。市町村教
育委員会や学校、家庭と居場所
作りをしている団体が更に連携
を深めて子どもの支援に繋げて
いきたい。

スクールソーシャルワーカー
は教育と福祉の連携を深める上
で重要な役割を果たしているの
で、更なる増員を要望しました。

こども未来部への質問

子どもの居場所づくりの地域間の支援の差について

A

現在、県内に子ども食堂が4
2ヶ所、無料学習塾が71ヶ所
あり拡がりを見せている。今後
は子どもの居場所と市町村、学
校などを繋ぐ「地域コーデ
イナー」養成講座を開いてい
き、そこで、子どもの居場所を
立ち上げる際のノウハウや子ど
もとの接し方等を学び、地域
コーディネーターを中心に情報
共有や相談が出来る体制づくり
を期待したい。更に市町村と力
を合せて子どもの居場所づく
りを拡げていきたい。

Q



「市町村によって、子どもの
居場所づくりを積極的に支援し
てくれるところと、そうでない
ところがある」「子どもの居場
所づくりを始める際の相談窓口
が欲しい」と言っ意見も頂いて
いるが、県としてどのように対
応していくのか。

こども食堂ネットワークぐんま事務局
(群馬県社会福祉協議会生活支援課内)
電話・0277・212・0011

他にも以下のことについて取り上げました。

- PCB廃棄物の処理について
- 外国人の医療通訳制度について
- 放課後等デイサービスについて
- 中高生の性教育について